

陸上部 読んで走ってまた読んで

『夏から夏へ』
佐藤多佳子／著 集英社 ZJ 782.3

北京五輪の陸上男子 400メートルリレー、日本は悲願の銅メダルを獲得した。4人の選手はどんな思いを抱えて練習の日々を送り、走るといふことに向き合っていたのだろうか？北京五輪に向けて、ひたむきに走る選手たちを追ったドキュメンタリー。読んだらきっと、君も誰かと走りたくなる。

オリンピックに行きたいなら↓

『部活で大活躍できる!陸上最強のポイント50』
福岡博樹／監修 メイツ出版 Y 782

剣道部 若き武士に学べ

『蟬しくれ』
藤沢周平／著 文藝春秋 913.6

時は江戸時代。十五歳の牧文四郎は、道場で剣の腕を磨いていた。そして、幼なじみの“ふく”に恋とも呼べない淡い気持ちを抱いていた。そんな中、謀反の疑いで父が切腹。さらにふくは、殿様の子を産み、手の届かぬ人になってしまう。ひたすら剣に打ち込む文四郎だったが、やがて藩をゆるがす騒動に巻き込まれていく…。

文四郎のように強くなる↓

『もっとうまくなる!剣道』
卯木照邦／著 ナツメ社 Y 789

テニス部 ラリーと友情は熱く

『ウィンブルドン』
ラッセル・ブラッドン／著 池中央／訳
東京創元社 Y 933

テニスプレイヤーのツアラブキンとキングは、年齢も国籍も超えて、熱い友情で結ばれていた。2人のウィンブルドン決勝戦の最中、犯罪計画が仕組まれた！そして犯人が密かに見つめる中、試合が始まって…。息詰まるラリーと背後で進む犯罪計画、そして2人の想いは！？スポーツミステリの傑作。

ウィンブルドンを目指す君に↓

『テニスがみるみるうまくなる超入門』
GODAI テニスカレッジ／著 PHP 研究所 Y

コーラス部 歌は人生をひらく

『サウンド・オブ・ミュージック』
マリア・フォン・トラップ／著 谷口由美子／訳 文溪堂 Y

修道女見習いのマリアは、7人の子どもを持つトラップ男爵の家に家庭教師として住み込むことになった。かわいいけれど、まじめすぎる子どもたちのために、マリアは一緒に歌を歌うことにした。マリアと子どもたちの美しい歌声に、トラップ男爵も加わって…。

ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」で描かれた、世界で一番有名な家族合唱団「トラップ一家」の物語。続きのアメリカ編もどうぞ！

演劇部 才能とは夢を見続ける力のこと

『俳優になりたいあなたへ』
鴻上尚史／著 筑摩書房 Y771

「俳優になるためにはどうしたらいいんだろう？」「俳優ってどんな仕事？」「ぶさいく村出身でも俳優になれる？」という素朴な疑問を、劇作家や演出家として活躍する筆者が高校生との対話をもとに書いた一冊。テレビの中で活躍している『俳優』という仕事をわかりやすく解説しています。もしかしたら、あなたも俳優になれるかも。

美術部 絵を描くことの喜びに

『剣と絵筆』
バーバラ・レオニ・ピカード／著 平野ふみ子／訳 すぐ書房

中世のイギリス。騎士の家に生まれたスティーブンは、絵が好きで、弱虫だといつもいじめられていた。いつかは立派な騎士になることを夢見ていたが、騎士には向かないと修道院へ送られてしまう。静かな生活の中で絵を書く喜びを覚えるが、やはり騎士になる夢を忘れられなかった…。出会いと別れを繰り返し、成長していくスティーブンは最後にたどり着いたものとは？

茶道部 動の競馬、静の茶道

『なぜ競馬学校には「茶道教室」があるのか』
原千代江／著 小学館 ZJ788.5

この本のタイトルの問いかけ、とても気になりますよね？「競馬」と「茶道」は、一見かけ離れたものようですが、共通点もあります。是非読んで確かめてみてください！
中学校を卒業した後、競馬学校に入った生徒に、三十年以上茶道を教え続けた作者の自伝。先生と生徒の心温まるエピソードが、たくさん書かれています。

卓球部 どんな表情で卒業しますか

『リボン』
草野たき／著 ポプラ社 Y913

女子卓球部の伝統は、卒業式に先輩のリボンをももらうこと。でも、先輩から「ヤダ」「尊敬してるなんてありえない」と断られてしまう。なぜ。どうして…。中学3年生。部活。進路。恋愛。本当の自分はなにがしたいのか。姉や友達、卒業した先輩の姿を見ながら、自分の今や将来について考えるようになる亜樹。自分を重ねる人も多いのでは…。

卓球がんばりたいなら↓

『卓球ビギナーズバイブル』
卓球王国／まとめ 卓球王国 ZJ783.6

ハンドボール部 硬派送球小説

『あざみ野高校女子送球部』
小瀬木麻美／著 ポプラ社 Y913

端野凜（はしのりん）は、中学ではバスケ部だったが、チームメイトと合わずに孤立していた。高校では団体競技はやらなつもりだったが、体育教師の成瀬に目をつけられて、ハンドボール部に勧誘される。凜はバスケットボールとの違いに戸惑いながらも、厳しい練習を重ねて、ハンドボールにのめりこんでいく。部活大好きな熱い人や、部内の人間関係に悩んでいる人に、特におすすめの本です！

未来のハンドボール日本代表に↓

『ハンドボール基本と戦術』
酒巻清治／監修 実業之日本社 Y783

ボート部 不機嫌な女子高生へ

『がんばっていきまっしょい』
敷村良子／著 幻冬舎 Y913

青春、女子高生、ボート、と聞くと何をイメージしますか？穏やかな午後の日差し、公園の池をゆっくりと進む2人乗りボート、微笑む2人、とかは出てきません。汗をかきながらトレーニングを重ねたり、ボート部なのに船酔いしたり、水に落ちたり…。ボート競技に興味がなくとも、一緒に青春できる小説です。

編集後記

このシリーズは全3回の予定です。自分の部が載っていなかった方は、次をお楽しみに。ちなみに私は、中学時代ギター部でした。懐かしいですね（担当O）
「自分の部活も」という人は今月中なら間に合うかもしれません。依頼がある人は中央図書館でティーンズを担当してそうな人に声をかけてください。（担当Y）
高校時代はレスリング部でした。練習がきつくて途中でやめてしまいましたが、部活後によく飲んだバナナ味の豆乳が格別で忘れられません。（担当I）